

# 葦崎 ジャーナル

株式会社ピー・エス・ワイ  
葦崎ジャーナル編集部  
発行責任者 小泉 徹  
〒407-0015  
葦崎市若宮1-3-18若宮ビル2F

2016年5月10日 創刊 発行日:毎月5日発行  
TEL0551-45-6885(代) FAX0551-45-7370  
人口27,321人(男13,698人(-6)、女13,623人(-8)) 12,995世帯(+1) (6月1日現在)

## 6月定例会市議会一般質問

### 小学校統合、市立病院経営を質問

葦崎市6月定例会市議会一般質問が、6月15日と16日に行われ、市議9人が通告した。また、議会最終日の22日には、一般会計に9943万円を追加補正し、一般会計の総額を177億2143万円とする補正予算案や報告、条例改正など18案件を可決して閉会した。

市政に関する一般質問では、市立穂坂小学校の適正配置について、市は「今後の方針決定を行うにあたり、地域懇談会を開催して保護者や地域住民に対し、丁寧な説明と意見を伺い、合意形成に努めていく」と答弁した。

市立病院の経営については、「現時点では一般医療料の充実や業務の見直しによる経費の削減を図りながら収益性を高め

創業昭和5年  
**井筒屋醤油株式会社**  
味増・醤油の井筒屋  
葦崎市本町2丁目9-26  
TEL.22-2255(代)

市内で子ども食堂を運営するNPO法人にららは葦崎市と連携して、市立葦崎東中学校と同葦崎西中学校の制服の寄付

### 中学校の制服を再利用

無償譲渡で子育て世帯を応援

市内で子ども食堂を運営するNPO法人にららは葦崎市と連携して、市立葦崎東中学校と同葦崎西中学校の制服の寄付を募り、必要な生徒に無償譲渡する「中学校制服リユース活動」を毎週火曜日に葦崎市民交流センター1階の「にらら地下1階の「にらら」子どもまんなかラウンジ」で開いている。

6月16日から始まり、3回目となった6月30日は、中学3年生や中学1年生を育てる母親などが訪れ、女子の夏服や冬服を選んで持ち帰った。



鳥瞰図の除幕式に参加した大村博士(左から2番目)

ていくことが必要」と説明した。

本町の市営総合運動場の供用開始時期については、「ウオーキングコースや屋外バスケットボールコート、防災備蓄倉庫を7月上旬に供用を開始

する。芝生広場は10月上旬、東側駐車場については来年4月を予定している」とした。

地域資源の活用とスポーツの融合については、葦崎中央体育館を管理するミズノ株式会社と

連携し、今年の秋に七里岩台の上の宿泊施設を活用した「ヨガリトリート」を計画していると述べ、「今後もスポーツツーリズムや事業の多角化を推進していく」と語った。

国道20号の4車線化の

進捗については、「国や県、市の関係者で検討会を開き、地域住民への意見を聴取の詳細について具体的な検討、協議を進めていく」とした。

このほか、市内商店街の駐車場不足について

は、「葦崎市民交流センター1階の24時間利用を可能にし、来訪者が安心して駐車できる環境を整備して利便性の向上を図っている」と答えた。

### 大村記念公園に鳥瞰図

八ヶ岳や鳳凰三山、町並み紹介

神山町の大村記念公園東側の駐車場に「武田乃郷(たけだのさと)鳥瞰図」の設置が完了し、6月21日、鳥瞰図の除幕式が行われた。ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智博士は、「多くの人にこの場所が良い場所だと感じてもらいたい」と完成を祝った。

完成した鳥瞰図は、高さ3.6m、幅3.75mで、山梨市在住の鳥瞰図絵師・温井一郎さん(67)が制作したもので、上空から鳥の目線で八ヶ岳や鳳凰三山などの山々、大村博士が「素晴らしい眺望」という白山ののろし台「ムク台」、武田家の家紋「武田菱」の由来になつたといわれる「菱岩」などが描かれている。

この鳥瞰図は、大村博士の幼少期や学生時代の思い出の場所を多くの人に知ってもらおうと、一

般財団法人葦崎大村財団(上野政巳理事長)が設置したもので、当日行われた除幕式には、関係者約20人が出席した。

除幕式で大村博士は、「この場所を将来に向けて発展させようと大村記念公園の整備を続けてきた。この場所が良い場所だと感じてもらいたい」とあいさつした。

鳥瞰図を制作した温井さんは、「今年2月からスケッチブックを持って集落や山を歩き、景観を確認した。大村先生からはムク台や菱岩などの場所を教えてくださいました。加え、5月に完成した」と語った。

葦崎大村財団によると、武田乃郷鳥瞰図の原画は葦崎大村美術館のエントランスホールに展示しているという。



毎週火曜日に制服を展示している

利用者からは「高額なものを購入せずに済んだ」や「汚れた時のため」などの声があった。

6月30日現在の在庫は、葦崎西中の女子の夏服の上4着、下2着、冬服の上下4着ずつ、葦崎東中の男子の冬服上下各3着となっている。

市の福祉課の担当者は、「制服は高額な買い物になるので、この事業により子育て世帯の経済的負担の一助になればと思う」といい、にららんの内藤慶子理事長は、「サイズや学校に偏りがあるので広く寄付を呼びかけていきたい。まだ利用で

きる制服が廃棄されず必要な人に渡すことを願っている」と話している。

制服のリユースは、毎週火曜日の午後5時〜7時(時間外は要相談)まで展示しており、サイズの確認や試着してその場で持ち帰ることができるが、本人確認のため、学生証の提示が必要。

制服の寄付は随時受け付けているが、破れや汚損、10年以上が経過しているものは対象外としている。問い合わせはメールの nkeiko1111@outlook.jp まで。

### 葦崎ジャーナル公式ライン

(株)ピー・エス・ワイ(葦崎ジャーナル・八ヶ岳ジャーナル)では、紙面が読める公式ラインを公開しました。右のQRコードから登録して下さい。また、定期購読ご希望の方は弊社まで。

(編集部 ☎ 0551-45-7789)



住宅の屋根・外壁の塗り替え・広告看板  
**甲文堂塗装看板店**  
有限会社  
●塗装工事部 ●看板工事部 山梨県知事許可 般-28第7094号

〒407-0013 山梨県葦崎市中島一丁目9-16 TEL/0551-22-1165 FAX/0551-23-5355  
〒408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪2591 TEL/0551-47-5245 FAX/0551-23-5355

安置専用施設 2室新設  
24時間 365日 直接安置可能

24時間 365日受付  
お気軽にご相談ください  
**セレオホール葦崎**  
☎ 0120-282-365

内科・消化器科  
**岩下内科医院** TEL.0551-45-8890 FAX.0551-45-8891  
葦崎市若宮1-2-50 葦崎市民交流センター(ニコリ)3F

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前 9:00~12:00	休み	●	●	●	●	●	休み
午後 15:00~18:00	休み	●	●	●	●	●	休み

ずっとストレスのない家づくり  
夢をカタチに  
**志村建設株式会社**  
一級建築士事務所  
〒407-0003 山梨県葦崎市藤井町北下棟1904

- ・葦崎で100年! 地域密着型工務店!
- ・県内トップレベルのゼロエネルギー住宅!
- ・新築・リフォームご相談ください!

HomePage Instagram

よもぎを練り込んだモチモチの生地と優しい甘さのこしあん  
**「生麩まんじゅう」194円**  
見た目は宝石のよう!  
冷やしてさらに美味しい  
**「琥珀糖ミント」799円**

**金精軒** 葦崎市小田川 154 ☎ 0120-37-0869

### 若者中心の奉仕団復活

#### 窪崎RAC 新たなスタート

1975年に発足し、2000年に解散した奉仕団体「窪崎ロータリークラブ」(以下・窪崎RAC)が26年ぶりに復活することになり、6月20日、国際ロータリー第2620地区の稲葉雅之(写真)が26年ぶりに



窪崎RACは、18歳以上の若者が集まり、地域社会のリーダーと意見交換したり、専門的なスキルを育む奉仕団で、窪崎RACはスポンサークラブ(窪崎ロータリークラブ)の支援を受けて発足したが、会員数の減少などの理由により、2000年に解散していた。

今回、窪崎ロータリークラブの呼びかけに賛同した山梨大学や都留文科大学などの学生と社会人の計9人のメンバーが集まったことから、窪崎RACとして復活の機運が高まり、会長に山梨大学3年の埴原さんを選出して、活動を再開することになった。

あいつに立つた埴原会長は、「窪崎ロータリークラブの皆さんの力を借りながらも、若い力を集めて社会や地域への奉仕活動を行っていく」と意気込みを語った。

また、稲葉クラブは、窪崎RACでは、7月20日に市内で開かれた認証伝達式では、窪崎ロータリークラブのメンバーが見守る中、窪崎RACのメンバー8人が出席し、山梨、静岡の2県をまとめる国際ロータリー第2620地区の稲葉クラブから認証証が埴原会長に手渡され、大きな拍手が湧き上がった。

### 日本文化で国際交流

#### 穂坂小に米国の中高生訪問

窪崎市の「姉妹都市中学校生ホームステイ事業」の一環で来日している米国立リフォルニア州フェアフィールド市の中高生5人が、市内のホストファミリー宅に滞在しながら、小中学校や高校での交流や消防署の見学、ごっこや習字などで文化交流した。

この交流事業は、国際的な視点を育んでもらおうと行われているもので、今回は6月25日に来日した14、18歳の中高生5人が、市内のホストファミリー宅に滞在しながら、小中学校や高校での交流や消防署の見学、ごっこや習字などで行った。

6年生が訪問団を歓迎するブラスバンドの演奏を披露した。続く1、2年生の体育の授業で、鬼ごっこを一緒にやり、交流を深めた。

また、4年生の教室に移動して開かれた3、4年生合同の文化交流では、中高生たちが児童から漢字の書き方を学びながら「友」の字を書いて、互いに作品を見せ合った。

「みなと同じ考えで流されるほうが得なこともあるかと思いますが、思い切って自分の意見を述べ、ぶつかり合うことも尊いことです。頑張ってください」と激励した。

また、稲葉クラブは、7月20日に市内で開かれた認証伝達式では、窪崎ロータリークラブのメンバーが見守る中、窪崎RACのメンバー8人が出席し、山梨、静岡の2県をまとめる国際ロータリー第2620地区の稲葉クラブから認証証が埴原会長に手渡され、大きな拍手が湧き上がった。



### ひと

ツツジの名所として知られる甘利山。その景観を次世代に伝える活動を続けている甘利山倶楽部の設立当初から活動に携わる小林美珠さん(75)は、笹刈りや自然保護に加え、子どもたちの環境学習にも力を注いでいる。

山が趣味になり、23歳の頃に薬師岳で山小屋を運営していた男性と出会い結婚。以来、窪崎で暮らしている。

甘利山は1990年代頃から笹刈りが盛んになり、ツツジを覆うように

山が趣味になり、23歳の頃に薬師岳で山小屋を運営していた男性と出会い結婚。以来、窪崎で暮らしている。

### 甘利山の景観を未来へ

#### 旭町 小林美珠さん

東京出身の小林さんは、大学で薬学を学び、卒業後は同大学研究室の助手として研究に携わった。研究の一環の植物採集で訪れた屋久島をきっかけに登

なった。これを危惧した地域住民や写真愛好家などの活動を発展させる形で、2001年に甘利山倶楽部が設立された。現在は約40人が所属し、笹刈りや防

と笹がツツジと同じくらいの高さになってしまっている。甘利山倶楽部は子どもたちの自然教育も

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」



小林美珠さん

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

担してレクチャーする。内容は、甘利山の成り立ち、甘利山の動植物の説明、動物の毛皮に触れる体験、榎さわらびの伝説を題材にした紙芝居など、メンバーの知識やスキルを持ち寄り企画している。

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

「甘利山の素晴らしい景色を子どもたち活動をしている。」

2氏迎え、トークセッション

明日からできる一歩

多様な生き方が肯定される社会へ



ライフステージの変化について話す山本代表 (右)

窪崎市は「なぜ女性は都市圏に流出してしまうのか」「ライフステージの変化と自分らしく生きるためには」「をテーマにしたトークセッション「自分らしい選択、自分らしい生き方」明日からできる一歩」を6月21日、窪崎市民交流センターニコリで開いた。

山本代表は「女性はこのように生きなさい」という周囲からの圧があるという意見を聞く。この圧は都市部では減少しているが、地方ではまだまだ残っており、その圧に息苦しくなり、逃げるように東京に行くという話もある」と語った。

21日、窪崎市民交流センターニコリで開いた。このトークセッションは、地方の女性が都市圏に流出する背景には働き方や暮らし方への価値観、無意識の思い込みなどの要因があることを学んで、人口減少に歯止めをかけるよう企画されたもので、エッセイストの犬山紙子さんと市出身の女性支援団体「地方女子プロジェクト」の山本蓮代表を迎えた。

当日は、市内外から約80人が参加。犬山さんは、地方から女性が都市圏に流出する背景として、執筆活動での経験をあげ、「女性はこのように生きなさい」という周囲からの圧があるという意見を聞く。この圧は都市部では減少しているが、地方ではまだまだ残っており、その圧に息苦しくなり、逃げるように東京に行くという話もある」と語った。

「問題は女性が都会へ行くからではなく、地元を選べないから」といい、「多様な生き方が肯定される地方社会の在り方が必要」と述べた。

山本代表は「容器代は、原油価格の高騰によるプラスチック容器の仕入れ価格を商品に価格転換せず、昔は主流だった」と(山寺代表)という量り売りで消費者の負担やプラスチックごみを減らすと企画された。量り売りは、井筒屋の合わせみそや米麹みそなど6種類を500g〜2kgまで500g単位で予約販売するもので、毎週月曜日・木曜日に店頭にふた付きの容器を持参し、希望のみそを予約先払いして予約した週の土曜日の午後5時に店頭で受け取る。

「多様な生き方が肯定される地方社会の在り方が必要」と述べた。

山寺代表は、「容器代をお客様に負担させずに地元のみそを味わうきっかけになればうれしい」と話している。詳細は☎22・2255まで。

「苦勞したから我慢しなさい」ではなく、「あなたたちも社会を変えられる」と背中を押してあげること」と呼びかけた。

山寺代表は、「容器代をお客様に負担させずに地元のみそを味わうきっかけになればうれしい」と話している。詳細は☎22・2255まで。

「苦勞したから我慢しなさい」ではなく、「あなたたちも社会を変えられる」と背中を押してあげること」と呼びかけた。

山寺代表は、「容器代をお客様に負担させずに地元のみそを味わうきっかけになればうれしい」と話している。詳細は☎22・2255まで。

「苦勞したから我慢しなさい」ではなく、「あなたたちも社会を変えられる」と背中を押してあげること」と呼びかけた。

山寺代表は、「容器代をお客様に負担させずに地元のみそを味わうきっかけになればうれしい」と話している。詳細は☎22・2255まで。

「苦勞したから我慢しなさい」ではなく、「あなたたちも社会を変えられる」と背中を押してあげること」と呼びかけた。

詐欺被害防止で感謝状

中田町のセブンイレブン



パソコンやスマートフォンに突然ウイルスに感染したと表示され、画面の連絡先に誘導する「サポート詐欺」を未然に防いだとして、甲斐警

パソコンやスマートフォンに突然ウイルスに感染したと表示され、画面の連絡先に誘導する「サポート詐欺」を未然に防いだとして、甲斐警署(大勝和彦署長)は、6月29日、中田町のセブンイレブン窪崎中田店(沢入勝弘オーナー)に感謝状を贈呈した。同署生活安全課によると、5月20日、北杜市在住の70代女性が「パソコンの修理サポート」の代金を支払うため、電子マネー3万円分を購入した「い」と来店し、詐欺の可能性が高いと判断した

沢入オーナーが110番通報して詐欺を未然に防いだ。(写真)

感謝状の贈呈式は甲斐署で行われ、大勝署長が沢入オーナーに感謝状を手渡し、「電子マネーの購入についてはコンビニで内容を聞くのは簡単なよう

性犯罪から守るため

子どもに合ったアプローチ

教育の必要性を学ぶ

発達障がいの子どもの育てる親でつくる任意団体「decoboko no kai」(でこぼこのかい)(鈴木千晶代表)では、障がいのある子どもへの性教育について学ぶ講座「でこぼこちゃんのための性教

育」を6月20日に窪崎市民交流センターニコリで初めて開いた。(写真)

ある子どもを性犯罪から守るため、障がいの特性に合った伝え方を考えてもらおうと企画されたもので、出張専門助産所ひらく(東京都)の代表で助産師の幸崎若菜さんを講師に迎えた。

当日は市内外から約20人が参加し、「子どもを守るために今からできること」をテーマに幸崎さんは近年の子どもの性暴力被害の状況を説明。

「子どもから性被害を告白されたら、打ち明けてくれたことを認め、誰に何をされたかを知るだけでいい」と話し、児童相談所や警察署に相談すること

また、障がいの種類や程度によって、言葉だけでなくイラストや動作などで性教育を進めることが必要とし、「一人ひとりが大切な存在であり、自分の体を知ることが大切。下着やマスクで隠れるプライベートゾーンや自分と他者の間にある見えない境界線など、自分の体は自分のものと伝えること」と話した。

南アルプス市から参加した30代の女性は、「性教育は生きるために必要なものだ改めて認識した。子どもに合ったアプローチで性教育をしていく」と話した。

また、障がいの種類や程度によって、言葉だけでなくイラストや動作などで性教育を進めることが必要とし、「一人ひとりが大切な存在であり、自分の体を知ることが大切。下着やマスクで隠れるプライベートゾーンや自分と他者の間にある見えない境界線など、自分の体は自分のものと伝えること」と話した。

短信

社会を明るくする運動

峡北保護区保護司会(降旗竜雄会長)と峡北地区更生保護女性会(浅川敬子会長)は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の立ち直り支援に理解を深める「社会を明るくする運動」の強調月間(7月1日〜31日)に合わせ、初日の1日、JR窪崎駅前で街頭キャンペーンを行った。

当日は、保護司会や保護女性会、甲斐警察署、窪崎市など関係団体から約40人が参加し、通勤通学の駅利用者や声を掛けながら、啓発グッズを手渡した。(写真)

降旗会長は、「街頭活動で犯罪や非行について表彰式で内藤久夫市長は、「安全に丁寧な施工をし、良好な工事が多かったと報告を受けている。引き続き工事の安全な実施と技術的能力を高め、良質な目的物の提供

「安全に丁寧な施工をし、良好な工事が多かったと報告を受けている。引き続き工事の安全な実施と技術的能力を高め、良質な目的物の提供

- 表彰者
◆土木・舗装工事部門
峡北工業株式会社(植松保行社長)、有限会社相馬組 有限会社杉浦工業所(猪又健吾社長)
▼建築部門
株式会社柳建工業(柳本日出男代表)
▼水道部門
株式会社日設管興(窪田茂代表)

「安全に丁寧な施工をし、良好な工事が多かったと報告を受けている。引き続き工事の安全な実施と技術的能力を高め、良質な目的物の提供

Advertisement for 'Station Soba' (駅そば) featuring 'Station Soba' (駅そば) and 'Station Soba' (駅そば) with details about the shop and its location.

Advertisement for 'Station Soba' (駅弁の丸政) featuring 'Station Soba' (駅弁の丸政) and 'Station Soba' (駅弁の丸政) with details about the shop and its location.

# 子どもたちに環境学習

## ごみの減量とリサイクルを学ぶ

児童の環境意識の向上を目的とした「環境学習会」が、6月19日に市立

穂坂小学校で開かれ、4年生6人が家庭でできる地球温暖化防止対策やごみの減量などを学んだ。



当日は篠原さんが「地球温暖化防止とごみの減量」をテーマに石油を使うと二酸化炭素が排出されることを説明して、「環境のことを考えず、このまま生活していると100年後には地球の気温が4・8度上がり、自然災

害が増えたり、作物が育たなくなってしまう」と話した。

約1・6キロの水分が含まれていると話し、「生ごみの水を絞ることでごみの焼却効率がよくなり、

二酸化炭素の排出を抑えられる。これだけでも地球温暖化防止につながる」と話した。

続いて、内川主任は「ごみとリサイクル」をテーマに、葦崎市の年間のごみの量や処理に使われる金額などを紹介し、「みんなでごみを集める際の機械の

動きや1台でどれくらい量を積載できるかなどが紹介された。(写真)

穂坂小の横森咲さん は、「家族に生ごみの処理を教えます。家でできるリサイクルをして地球温暖化を止められるようにしたい」と話した。

### 夏の例大祭参加しませんか

## 神輿の担ぎ手大募集

若宮の若宮自治会(横山美和子会長)では、「地域の祭りを未来へつなぐ」を合言葉に、7月30日に開催する若宮八幡宮の「夏の例大祭」の神輿の担ぎ手を今回初めて募集している。申し込み締め切りは7月15日まで。

若宮八幡宮の「夏の例大祭」の「神輿渡御(みこしとぎよ)」は、本殿の神様を神輿に移して町内を練り歩くもので、「えいさ、おいさ」の掛け声が町内に響き渡る。

これまで神輿の担ぎ手は、若宮在住や出身者という条件があったが、高齢化や担ぎ手不足を補う

ため、今回広く参加者を募ることにしたもので、健康な15歳以上の男女なら誰でも応募することが

例大祭当日は、午後1時頃に若宮八幡宮を出発し、JR葦崎駅西側や塩川の土手沿い、県立葦崎高等学校前など地区内の

約2キロを練り歩き、3時30分頃に同神社に戻る予定。若宮自治会の担当者は、「地域のお祭りの心とつらさをみんなで盛り上げられたらうれし

い。未経験者でも歓迎しますので、気軽に参加してほしい」と呼びかけている。

問い合わせは☎090-1856-5596(横山)まで。

### ゆ〜ぶるの利用募集

## 応募締め切りは今月10日

今年3月に閉館した田町の葦崎市健康ふれあいセンター「ゆ〜ぶるに

らさき」の活用を検討している葦崎市は、「サウンディング型市場調査」を実施している。施設の活用についての応募締め切りは、7月10日

までで、8月下旬に直接提案内容を聞くことになっている。(写真)

このサウンディングは、地方自治体が民間事業者などに対して、事業のアイデアや意見、参入意向や公募条件などを聞く手法で、「ゆ〜ぶるに

らさき」の今後の活用について、広く意見を募ろうと今回実施されている。

市では「ゆ〜ぶるにらさき」の施設概要や過去の入館者数などをホームページや公共施設の不動産を扱うサイトなどを使って、全国に向けて情報を発信している。

市の商工観光課では、



「多くの事業アイデアが届くことを期待している」と話し、サウンディングの結果は9月に公表することになっている。

問い合わせは☎45・9158まで。

**正社員募集中**  
詳しくは下記電話番号へ

**アスファルト 舗装・施工**

**有限会社 若月建設**  
山梨県知事 般-6第7543号

代表 若月重仁

〒407-0055  
山梨県葦崎市清哲町青木2115  
TEL0551-45-8107  
FAX0551-45-8129

お気軽にお問い合わせください

**永住村 有限会社**

山梨県知事(5)第2090号  
全国宅地建物取引業保証協会会員  
山梨県宅地建物取引業協会会員

住所: 葦崎市龍岡町下條東割961  
TEL: 0551-23-1181  
mail: eijyumura@cyber.ocn.ne.jp

「空き家」、「別荘」  
「土地」の売却相談、  
無料査定受付中

HP

夢を叶える

**SORATOMORI**

名取工務店  
山梨県知事許可(般-5)第10708号  
昊と社一級建築士事務所  
山梨県知事(梨)第1-042004号

お家のことなら  
なんでもご相談ください

〒408-0044  
北杜市小淵沢町7169-3  
お問い合わせ: 0551-37-6606

**永代供養付樹木葬型個人墓**

永代霊廟 篠原内  
36区画  
残り9区画

1区画 36万円~(名板代込み・文字入れ代別)  
※区画予約金不要

**向富山 蔵前院** お墓に関するお問い合わせは  
(葦崎駅から徒歩5分) **090-7522-6136**  
葦崎市中央町6-8

SINCE 1919 医療法人 **千野眼科医院**  
CHINO EYE CLINIC  
葦崎市本町1-5-26

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	●	●	●	×	●	●
午後 3:00~5:00	●	●	●	×	●	×

休診日  
日曜日・祝祭日・木曜日・土曜日午後

☎0551-22-0038

「味・健康・安全」...そのこだわりを商品化する  
(甘味料・調味料・調味液・品質保持剤・健康食品)

食添GMP登録 JAS JAS認定工場

**ツルヤ化成工業株式会社**

本社 〒407-0033 山梨県葦崎市竜岡町下條南割995-400  
TEL: 0551-23-0330 FAX: 0551-22-9988

営業本部 〒252-0144 神奈川県相模原市緑区東橋本1-5-10  
TEL: 042-770-8131 FAX: 042-770-2825

ISO-9001 認証登録

**株式会社 島村組**

代表取締役 島村 茂 幸

本社 〒407-0263 山梨県葦崎市穴山町8795  
TEL. 0551-22-7151 FAX. 0551-22-4821

**大村智博士** 葦崎市名誉市民  
特別感謝状贈呈式  
記念講演

大村智博士の功績を称え、市として初となる「葦崎市名誉市民特別感謝状」を贈呈します。あわせて、記念講演「葦崎大村記念公園物語」を開催します。

令和8年 18時30分~(18時開場)  
**7月12日(日)** 入場無料 申込不要  
葦崎文化ホール 大ホール 定員: 約600人(先着順)

問い合わせ  
秘書人事課 秘書担当 ☎0551-45-9344

毎週火曜日  
経営者モーニングセミナー開催  
参加費無料

7月の講演内容

- 7/7 「古民家再生と穂坂まつり」  
古民家高久保 小俣 真由美氏
- 7/14 「人生のどん底で知った「人間」と「植物」の関係」  
南アルプス地産地消協会 代表 経緯 渡邊 正義氏
- 7/21 「保護司及び保護司会の活動について」  
峡北保護区保護司会 会長 降旗 龍雄氏  
甲府保護観察所 所長 坂本 和巳氏
- 7/28 「本(もと)を忘れず明るに生きる」  
法人スーパバイザー サトホーム 代表取締役 佐藤 節子氏

「明眼」「愛和」「密情」の実践  
**葦崎市倫理法人会**  
参加を希望の方は事前にご連絡下さい  
☎0551-42-2346(小泉健一・エス・ワイ)

**SUMMER SALE**  
中古車高値買取

**GARDEN**

株式会社ガーデン  
〒400-0107 甲斐市志田606-1  
Tel: 0551-45-9016

営業時間: 10:00~19:00 定休日: 水曜日、第4日曜日